

文化芸術・多文化共生に関する区民意識意向調査の概要報告について

区の文化芸術と多文化共生を推進する「いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン」の策定にあたり、区民の意識や意向などを広く把握し、基礎資料とすることを目的に調査を実施した。今般、概要がまとまったので以下のとおり報告する。

1 調査実施概要

(1) 文化芸術に関する調査

	区民	区内中学生	区外住民
調査対象	18 歳以上 2,000 人	区内中学 2 年生 681 人	都内他区 18 歳以上 600 人
抽出方法	住民基本台帳無作為抽出	区内 5 地域各 1 校選出	調査受託者外部モニター
調査方法	郵送配付、郵送回収	学校を通じて配付、回収	WEB 依頼及び回答
調査期間	9 月 20 日～10 月 15 日	9 月 25 日～10 月 15 日	11 月 23 日～11 月 24 日
回収結果	有効回収数：699 票 有効回収率：35.0%	有効回収数：625 票 有効回収率：91.8%	有効回収数：600 票 有効回収率：100.0%

(2) 多文化共生に関する調査

	外国人区民	日本人区民
調査対象	18 歳以上外国籍区民 3,000 人	18 歳以上日本国籍区民 2,000 人
抽出方法	住民基本台帳無作為抽出	
調査方法	郵送配付、郵送回収	
調査期間	9 月 20 日～10 月 15 日	
回収結果	有効回収数：738 票 (有効回収率：25.1%)	有効回収数：785 票 (有効回収率：39.4%)

2 調査項目

文化芸術に関する調査	(1) 属性 (性別、年齢、国籍、居住地域など) (2) 自身の文化芸術に関する行動について (3) 区内の歴史文化資源について (4) 文化芸術の情報入手について (5) 板橋区の文化に関する取組について	区民 全 28 問
		区内中学生 全 18 問
		区外住民 全 12 問
多文化共生に関する調査	(1) 属性 (性別、年齢、国籍、在留資格など) (2) 生活情報について (3) ことばについて (4) 地域での生活や活動について (5) 災害など緊急時の対応について (6) 子育てや教育について (7) 地域の外国人との共生について (8) 区が多文化共生に関する取組について	外国人区民 全 48 問
		日本人区民 全 31 問

3 調査結果概要 ※[]内は前回調査（平成26年度実施）結果

（1）文化芸術に関する調査・主な項目

設問	区民	区内中学生
1年間の文化芸術鑑賞状況 (区民:問4 中学生:問2)	1位:映画 (49.1%) 2位:美術 (36.9%) 3位:ポピュラー音楽 (26.3%) ※鑑賞率:75.8%[79.2%]	1位:映画 (69.9%) 2位:美術 (24.2%) 3位:クラシック音楽 (20.0%) ※鑑賞率:81.6%[72.4%]
文化芸術鑑賞をしなかった理由 (区民:問6 中学生:問3)	1位:仕事や家事、育児が忙しい (28.0%) 2位:興味・関心がない (20.7%) 3位:テレビやインターネット鑑賞 (17.7%)	1位:興味・関心がない (41.3%) 2位:勉強や部活、習い事が忙しい (39.4%) 3位:行きたい公演等がない (21.1%)
区等を実施してほしい公演等 (区民:問7 中学生:問4)	1位:国内外の優れた公演等 (48.5%) 2位:伝統芸能・郷土芸能 (22.6%) 3位:身近な場所での公演等 (22.5%)	1位:身近な場所での公演等 (18.4%) 2位:国内外の優れた公演等 (14.9%) 3位:親子やファミリーで楽しめる公演等(14.4%)
1年間の文化芸術活動状況 (区民:問8 中学生:問5)	1位:生活文化 (11.9%) 2位:美術 (9.7%) 3位:クラシック音楽 (6.9%) ※活動実施率:30.7%[23.9%]	1位:クラシック音楽 (17.4%) 2位:美術 (13.4%) 3位:生活文化 (10.7%) ※活動実施率:38.4%[37.3%]
文化芸術活動をしなかった理由 (区民:問13 中学生:問9)	1位:きっかけがない (36.0%) 2位:仕事や家事、育児が忙しい (31.0%) 3位:興味・関心がない (19.2%)	1位:興味・関心がない (43.8%) 2位:きっかけがない (38.9%) 3位:勉強や部活、習い事が忙しい (38.4%)
区の伝統芸能・郷土芸能の認知度 (区民:問14 中学生:問11)	1位:田遊び (23.9%) 2位:獅子舞 (12.3%) 3位:祭り囃子 (7.2%) ※認知度:31.9%[37.0%]	1位:獅子舞 (44.5%) 2位:田遊び (24.8%) 3位:祭り囃子 (10.9%) ※認知度:61.8%[32.9%]
区の文化財の認知度(区民:問16 中学生:問12)	1位:志村一里塚 (51.9%) 2位:板橋 (51.4%) 3位:縁切榎 (41.9%) ※認知度:74.5%	1位:志村一里塚 (25.6%) 2位:板橋 (25.1%) 3位:伝統工芸 (9.4%) ※認知度:48.0%
文化芸術に関する情報の入手方法 (区民:問18)	1位:広報いたばし (52.6%) 2位:ポスターや看板、車内広告 (29.5%) 3位:インターネット (25.2%)	—
区の文化の特徴を表現しているもの (区民:問21 中学生:問13)	1位:絵本のまち (29.2%) 2位:自然と歴史と文化のまち (23.6%) 3位:文化芸術活動が活発なまち (22.3%) 3位:伝統文化等を継承するまち (22.3%)	1位:自然と歴史と文化のまち (27.0%) 2位:伝統文化等を継承するまち (22.7%) 3位:文化芸術活動が活発なまち (22.6%)
文化施設の訪問度・満足度 (区民:問22 中学生:問14)	訪問度 1位:区立文化会館 (62.1%) 2位:区立図書館 (57.6%) 3位:グリーンホール (45.5%)	1位:区立図書館 (58.1%) 2位:区立文化会館 (51.2%) 3位:区立美術館 (36.6%)
	満足度 1位:区立文化会館 (71.9%) 2位:区立図書館 (70.0%) 3位:区立美術館 (68.5%)	1位:区立文化会館 (82.5%) 2位:いたばしホローニヤ子ども絵本館 (79.7%) 3位:区立図書館 (79.6%)
文化施設が利用されるために重要なこと(区民:問23 中学生:問15)	1位:情報をわかりやすく提供等 (59.1%) 2位:誰もが気軽にくつろげる空間 (58.5%) 3位:板橋ならではの文化に触れる (18.2%)	1位:誰もが気軽にくつろげる空間 (54.7%) 2位:多言語等ユニバーサルデザイン推進 (28.0%) 3位:情報をわかりやすく提供等 (27.7%)

設問	区民	区内中学生
子どもの文化芸術活動に必要な取組み(区民:問 24 中学生:問 16)	1 位:子ども参加・体験型事業 (62.1%) 2 位:学校での文化芸術教育充実 (43.6%) 3 位:子ども対象の鑑賞機会充実(43.5%)	1 位:子ども参加・体験型事業 (53.3%) 2 位:学校へのアーティスト派遣 (27.2%) 3 位:学校での文化芸術教育充実 (24.6%)
区における文化芸術施策の満足度(区民:問 25)	個性あふれる文化芸術の創造 (29.1%) 伝統文化の継承 (28.9%) 多様な文化芸術情報の収集発信 (25.9%)	—
今後区が重点的に取り組むべきこと(区民:問 26)	1 位:伝統文化の保存・継承・周知 (52.4%) 2 位:子ども等の文化芸術機会 (50.6%) 3 位:板橋らしい文化芸術創造支援 (29.8%) 3 位:文化芸術情報を区外発信 (29.8%)	—

設問	区外住民
1 年間の文化芸術鑑賞状況(問1)	1 位:映画 (38.3%)、2 位:美術 (23.3%)、3 位:ポピュラー音楽 (15.5%) ※鑑賞率:59.8%
1 年間の文化芸術活動状況(問2)	1 位 ポピュラー音楽 (5.2%)、2 位 美術 (5.0%)、3 位 生活文化 (4.5%) ※活動実施率:18.8%
「文化的なまち」として魅力あるもの(問5)	1 位:自然と歴史と文化のまち (30.0%) 2 位:歴史的価値のある文化財が残るまち (29.7%) 3 位:伝統文化や郷土芸能を継承するまち (25.7%)
地域の文化芸術を盛んにするために必要なこと(問6)	1 位:伝統文化を保存・継承・周知 (36.8%) 2 位:その地域らしい個性ある文化芸術活動の創造・支援 (28.8%) 3 位:子どもや若者が文化芸術に触れる機会を充実させる (28.2%)

(2) 多文化共生に関する調査・主な項目

設問	外国人区民	日本人区民
住みやすさ/定住(外国:問10・問11 日本:問7・8)	住みやすい(95.0%)[94.9%] 区内に住み続けたい(87.9%)[90.0%]	住みやすい(92.5%)[94.3%] 区内に住み続けたい(87.9%)[89.6%]
地域でのつきあい(外国:問 24 日本:問 13)	あいさつする程度までの日本人がいる(60.2%)[74.2%]	あいさつする程度までの外国人がいる(23.7%)[20.3%]
日本での生活で困りごと、心配ごと(外国:問 29 日本:問 17)	1 位:健康保険・年金・税金など (38.5%) 2 位:病院・医療 (24.7%) 3 位:災害・緊急時対応 (23.7%)	1 位:ゴミの出し方等生活ルール (70.3%) 2 位:災害・緊急時対応 (60.6%) 3 位:行政情報の日本語の難しさ(55.9%)
災害に関する地域活動への参加意識(外国:問 33 日本:問 20)	町会等の活動(防災訓練など) (59.7%) 避難所での通訳者としての活動 (57.0%) 外国人同士の協力体制づくり (56.6%)	町会、自治会の活動(防災訓練など) (59.1%) 避難所での通訳者としての活動 (64.5%) 外国人同士の協力体制づくり (62.8%)
外国人の災害対策(外国:問 34 日本:問 21)	1 位:多言語マニュアル・マップ配付(45.3%) 2 位:多言語情報伝達体制 (36.2%) 3 位:インターネット・SNS 発信 (30.9%)	1 位:多言語マニュアル・マップ配付 (62.0%) 2 位:多言語情報伝達体制 (45.1%) 3 位:インターネット・SNS 発信 (33.2%)
子育て・教育に関する困りごと等(外国:問 39・40 日本:問 24)	<保育所等に通う子どもがいる方> 1 位:自国の言語・文化 (56.4%) 2 位:子育て・教育費用 (49.3%) 3 位:相談先がわからない (32.4%)	<15 歳以下の子どもがいる方> 外国人が増えることの子育て・教育への影響 1 位:多様な価値観を受容 (80.8%) 2 位:連絡がうまく伝わらない (72.6%) 3 位:保護者同士の連携が不安 (67.1%)

設問	外国人区民	日本人区民
	<小中学生の子どもがいる方> 1位:子育て・教育費用 (48.4%) 2位:自国の言語・文化 (43.3%) 3位:相談先がわからない (35.1%)	
多文化共生事業の認知度 (外国:問 42 日本:問 25)	1位:日本語教室 (21.7%) 2位:転入者へのWelcomeパック (13.7%) 3位:多言語リーフレット (11.1%)	1位:海外友好都市との交流事業 (24.2%) 2位:公共施設・標識等多言語化 (13.4%) 3位:区役所窓口での通訳対応 (10.4%)
海外都市との交流に期待すること (外国:問 43 日本:問 26)	1位:文化交流 (60.7%) 2位:国際平和 (44.0%) 3位:青少年・教育交流 (33.7%)	1位:文化交流 (60.9%) 2位:国際平和 (50.8%) 3位:青少年・教育交流 (41.9%)
日本人がした方がよいと思うこと/望むこと(外国:問 45 日本:問 28)	1位:外国の文化・生活習慣理解 (26.7%) 2位:日本語・日本の習慣紹介 (18.7%) 3位:日頃から外国人住民と会話 (15.9%)	1位:外国の文化・生活習慣理解 (30.7%) 2位:日頃から外国人住民と会話 (23.2%) 3位:日本語・日本の習慣紹介 (16.1%)
多文化共生施策の満足度 (外国:問 46 日本:問 29)	1位:施設・案内サイン等多言語化 (50.0%) 2位:やさしい日本語の使用 (46.6%) 3位:行政文書の多言語化 (46.2%)	1位:施設案内サイン等多言語化 (23.0%) 2位:やさしい日本語の使用 (14.8%) 3位:行政文書の多言語化 (12.4%)
今後重点的に取り組むべき施策 (外国:問 47 日本:問 30)	1位:災害や緊急時対応 (24.1%) 2位:日本人との交流機会創出 (23.6%) 3位:日本人の外国文化への理解(22.9%)	1位:災害や緊急時対応 (43.8%) 2位:外国人の子どもへの日本語教育 (34.4%) 3位:外国人との交流機会創出 (31.8%)

4 調査結果の活用

この調査結果は、今後設置を予定している「いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン検討会」及び庁内調整会議における検討資料とし、庁内はもとより区民、各団体、学識経験者などの意見を伺いながら、「いたばし文化芸術・多文化共生ビジョン2025」の策定に向け活用していく。

5 調査結果の報告・公表

2月18日の区民環境委員会に報告後、区ホームページ、区政資料室、区立各図書館、文化・国際交流課窓口にて公表する。